

講義コード	11C0115904	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	芳賀 和樹	開講期	第1期
科目名	経済史基礎D					芳賀 和樹		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	現在は情報にあふれている社会である。何か経済史の重要事項について、手元にある携帯電話からネット検索すれば、さまざまな情報が手に入るだろう。しかし、それらの情報は、信頼に値するものなのだろうか。情報に対する判断力を培っておかなければ、不確かな情報によって振り回されかねない。歴史の研究は、史料を根拠としている。その史料の正確性も判断しなければならない。また、現在は過去との何らかの繋がりを有している。その由縁や関連がシステムチックになっていけば、対象を理解しやすいし、その行動も予測できる。過去の知識が有るのと無いのとでは、現在を見る目も異なるのである。本講義は、経済の仕組みを過去の出来事から学ぶことを目的とするものである。								
到達目標	世界のさまざまな地域の経済や社会が、どのような経緯をたどって今日の姿になったのかを理解し、歴史的視点から考察が出来るようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	各回の講義を受講するにあたり、各自、授業外学修として4時間（計60時間）行うこと。								
授業計画	【第1回】 経済史では何を学ぶか 【第2回】 人口と経済 【第3回】 農業と人びとの暮らし 【第4回】 農村社会と都市社会 【第5回】 宗教と経済 【第6回】 市場の広がりや貨幣 【第7回】 大航海時代 【第8回】 貿易				【第9回】 イギリス産業革命 【第10回】 勤勉革命と近世日本社会 【第11回】 アメリカの発展 【第12回】 戦争と技術発展 【第13回】 疾病と開発 【第14回】 資本主義と社会主義 【第15回】 情報の発達と産業の変化——現代に生きる私たちの暮らし				
成績評価の方法	講義中の小レポートや定期試験で評価する。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書	『経済史入門 過去と現在を結ぶもの』岡田 泰男（慶応大学出版会）1997年、『あなたが歴史と出会うとき 経済の視点から [新版]』堺 憲一（名古屋大学出版会）2009年								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	専任）本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。また、WebClass のメッセージ機能でも受け付けます（利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照）。 非常勤）本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									